

ありんこ水俣 児童発達支援（事業所）

・PDCA サイクルに職員が参画しているか

→話し合いの時間にいないため、帰る前や合間にスタッフと話す。

・第三者による評価

→第三者評価は受けていない

・職員の資質の向上のため研修の機会の確保

→月に一度、外部から講師にきてもらっている。

まだ参加の機会はない。

・アセスメントを適正に行い計画を作成しているか

→指導員同士がその日に合った気になる点について話し合うことを常にしている。

・活動プログラムをチームで行っているか

→毎月、来月の活動内容を一人一つは提案している。おたよりを通して、みんなで活動は何をするのか決めている。

・活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

→できるだけ同じ活動内容にならないよう工夫している。

活動がかぶらないよう、前のおたよりを見て考えている。

・支援終了後には打ち合わせをし、振り返りを行い共有しているか

→事業所では行われているが、個人としては時間の都合で参加できないので結果を聞くようにしている。

その日の午後に振り返りを行いスタッフ間で次回の支援など話し合っている。

指導員が多い日は色々と気付くことが多く、その日その時で日々意見を交わすことが出来ている。

・支援の記録を取り検証・改善につなげているか

→一日一日の記録を残すことで、以前との成長も比べてみるができる。

・移行支援として園、学校との間で情報共有と相互理解を図っているか

→サポートブックを作り、園との情報共有出来ている。

送迎時を通して、学童の先生や学校の先生と情報交換している。

・他の事業所、センター、専門機関と連携し助言や研修を受けているか  
→年に何回か児発管の集まりがあるので各事業所で研修や意見交換行っている。

・子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか  
→連絡帳を通して悩み相談、こちらでの様子を伝え情報交換を行っている。  
モニタや見学の際にお伝えしている。

・運営規定、利用者負担等についての説明  
→契約時に説明している。

・父母の会、保護者会の開催  
→コロナ禍でできていない。

・会報等の発行、活動・行事予定の情報を発信しているか  
→4月に年間行事、毎月活動やお知らせのおたよりを発行している。

・定期的に避難訓練等必要な訓練を行っているか  
→定期的に避難訓練を行っている。年に二回(地震と火災)

・服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか  
→契約時に確認している。  
会議の際に親御さんから情報を聞いてお子様の状況確認している。  
薬がある子は薬の場所も確認している。

・アレルギーのある子どもについて対応がされているか  
→食べ物は提供していない。

・虐待を防止するため、職員の研修をしているか  
→年に一回は研修するようにしている。